

**「新測定基準」(*1) 準拠の吸込仕事率 570W を実現
小型軽量でハイパワーの紙パック方式スタンダードタイプクリーナーを発売
高い吸引力が持続し、清潔機能やヘッド(吸口)の機能も充実**

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:石津 尚澄)は、「新測定基準」に基づいた吸込仕事率 570W を実現(CV-PK8)した、紙パック方式のスタンダードタイプクリーナーCV-PK8・CV-PK7の2機種を3月1日から発売します。日立独自の高性能ファンモーターと空気流路構造により、小型軽量の本体ながら高い吸引力が持続し、捕集したごみの除菌(*2)・消臭や、ヘッドの手入れのしやすさも充実させました。

型式および発売日

型式(吸口形式)	希望小売価格	発売日	月産台数
CV-PK8(パワーヘッド)	オープン価格	3月1日	15,000台
CV-PK7(パワーヘッド)	オープン価格	3月1日	20,000台

新製品の主な特長 <紙パック方式クリーナーCV-PK8・CV-PK7>

1. 「新測定基準」準拠の吸込仕事率 570W を実現(CV-PK8)

耐久性に優れた日立独自の高性能ファンモーターと、製品各部の空気流路の最適化設計により、CV-PK8は吸込仕事率 570W(消費電力 1,000W 時)を、CV-PK7は吸込仕事率 560W(消費電力 1,000W 時)を実現しました。なお、この吸込仕事率は、「新測定基準」に基づき測定した表示となっています。

2. 独自の集じん室内流路構造で高い吸引力が持続

従来機種と同様に、本体ふた裏面に日立独自の空気流路構造である「パワー長持ち流路」を採用しています。これにより、ごみがたまって空気もスムーズに流れ、パワーダウンを抑えて高い吸引力が持続します。また、これにより紙パックの容積いっぱいまでごみをためることができるので、紙パックもより長持ちします。

3. 「ナノチタン・アレルオフ除菌消臭システム」で清潔排気(CV-PK8)

複数の高性能フィルターに加え、本体後部に装着した「アレルオフ抗菌消臭 HEPA クリーンフィルター」の捕じん性能を高め、微細なほこりやちり、細菌までもしっかり捕集し、除菌する「ナノチタン・アレルオフ除菌消臭システム」を新たに採用しました(CV-PK8)。また、両機種ともに、人工酵素と「ナノチタン」触媒の効果で、捕集したアレル物質(ダニ、スギ花粉など)を99%以上分解(*3)するだけでなく、においの分子も効率よく捕集し、消臭します。

4. 糸くずや髪の毛の絡みつきを抑え、手入れも容易なパワーヘッド

ヘッドには、上位機種と同様に、回転ブラシへの糸くずや髪の毛の絡みつきを抑える「からまん機能」を採用するとともに、ブラシの着脱を簡単にした「ワンタッチ着脱回転ブラシ」により、手入れもしやすくしました。さらに、「きわびたスイングシャッター」の採用により、壁際のごみも効果的に取ります。

(* 1) 「新測定基準」とは、従来の吸込仕事率の測定方法・測定装置・測定値の許容差を変更した JIS C 9108(2007 年度改訂予定)による表示です。

従来の表示に比べて、同じ吸込力でも、おおむね 10%程度小さく表示されます。

(* 2) 試験機関:(財)北里環境科学センター 試験方法:菌を含む気流の除菌 除菌の方法:ろ過方式 試験種:真菌(黒カビ)

(* 3) 試験機関:信州大学 試験方法:電気泳動法 分解の方法:人工酵素を繊維表面に処理

需要動向と開発の背景

2006 年度の家庭用クリーナーの総需要は、約 585 万台(前年比 100%)と堅調な推移が見込まれます。特に、紙パック方式は、手入れが不要なことや、ごみ捨てが簡単なことから、増加傾向にあります。(日立調べ)

当社でクリーナーに対するニーズを調査したところ、トップは依然として吸引力ですが、アレルギー人口の増加や、昨今のペットブームなどにより清潔・衛生に対する関心が高まっています。また、基本的なニーズとして本体の小型軽量化や、ヘッドの手入れのしやすさが挙げられています。特に、回転ブラシへの糸くずなどの絡みつきの解消は、機種やグレードを問わず、回転ブラシを採用するクリーナーに共通のニーズになっています。そこで今回は、こうしたニーズに応える製品を開発しました。

お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話/0120-3121-11

クリーナーホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/clean/index.html>

以上

(添付資料)

紙パック方式スタンダードタイプクリーナーCV-PK8・CV-PK7の詳細説明

1. 「新測定基準」(*1) 準拠の吸込仕事率 570W を実現

耐久性に優れた日立独自の高性能ファンモーター(図1)を最先端技術により改良を加え、送風性能を向上させました。さらに、製品各部の空気流路の最適化設計により、パワーの損失を徹底して抑えることで、CV-PK8は吸込仕事率570W(消費電力1,000W時)を、CV-PK7は吸込仕事率560W(消費電力1,000W時)の強力吸引を実現しました。なお、この吸込仕事率は、「新測定基準」に基づき測定した表示となっています。

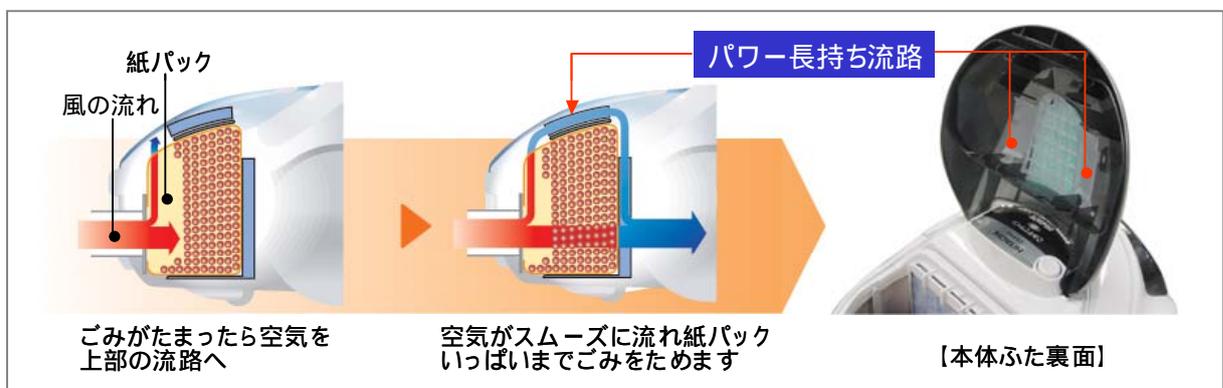


[図1 ファンモーター]

(*1)「新測定基準」とは、従来の吸込仕事率の測定方法・測定装置・測定値の許容差を変更した JIS C 9108(2007 年度改訂予定)による表示です。従来の表示に比べて、同じ吸込力でも、おおむね 10%程度小さく表示されます。

2. 独自の集じん室内流路構造で高い吸引力が持続

本体の集じん室のふた裏面に設けた日立独自の「パワー長持ち流路」(図2)構造により、ごみがたまって、紙パックからいったん出た空気が2本の流路の中をスムーズに流れるため、パワーダウンを抑えて高い吸引力が持続します。また、これにより紙パックの容積いっぱいまでごみをためることができるので、紙パックも長持ちします。



[図2 パワー長持ち流路]

3. 「ナノチタン・アレロフ除菌(*2) 消臭システム」で清潔排気(CV-PK8)

高性能排気フィルターで高捕じん、しっかり除菌(CV-PK8)

複数の高性能フィルターに加え、本体後部に装着した「アレロフ抗菌消臭 HEPA クリーンフィルター」の捕じん性能を高めて、微細なほこりやちり、細菌までもしっかりキャッチし除菌します。

捕集したアレロ物質の活動と、集じん室内のにおいを抑制(*3)

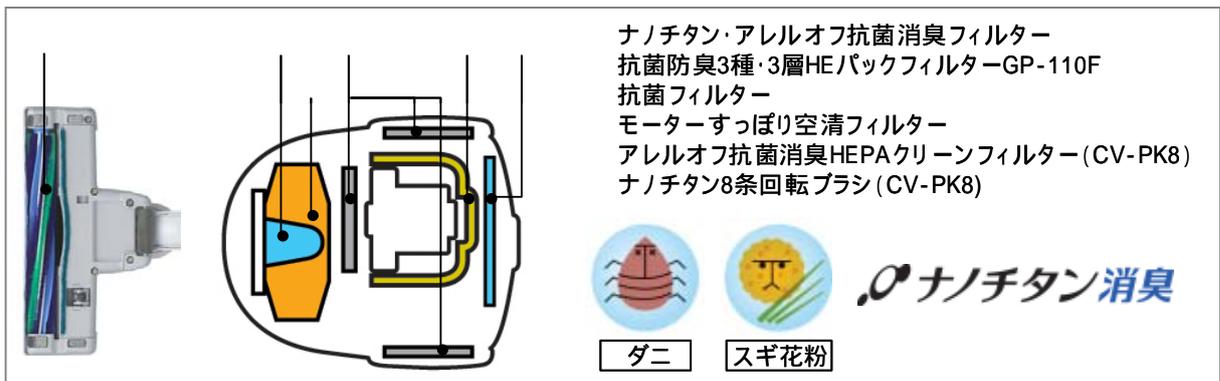
集じん室内に装備した「ナノチタン・アレロフ抗菌消臭フィルター」に含まれる人工酵素と「ナノチタン」触媒の効果で、捕集したアレロ物質(ダニ、スギ花粉など)を99%以上分解(*4)するだけでなく、においの分子も効率よく捕集し、消臭します。

日立独自の紙パックで高い捕じん性能(*3)

紙パック「抗菌防臭3種・3層HEパックフィルター（GP-110F）」の中間層に、低損失で捕じん性能が高い、メルトブロー不織布（超極細帯電層）を採用し、静電気のでごみを引き寄せて立体的に捕じんするため、高捕じんながら目詰まりしにくいフィルターです。

ヘッド（吸口）も清潔

汚れの付着しやすいヘッドには、抗菌・消臭効果のある「ナノチタン8条（CV-PK8）回転ブラシ」を採用しています。また回転ブラシは水洗い可能です。



[図3 ナノチタン・アレロオフ除菌消臭システム]

(*2) 試験機関：(財)北里環境科学センター 試験方法：菌を含む気流の除菌 除菌の方法：ろ過方式 試験種：真菌（黒カビ）

(*3) 当社従来機種より採用

(*4) 試験機関：信州大学 試験方法：電気泳動法 分解の方法：人工酵素を繊維表面に処理

4. 糸くずや髪の毛の絡みつきを抑えた、手入れも容易なパワーヘッド

糸くずや髪の毛の絡みを抑える「からまん機能」(図4)

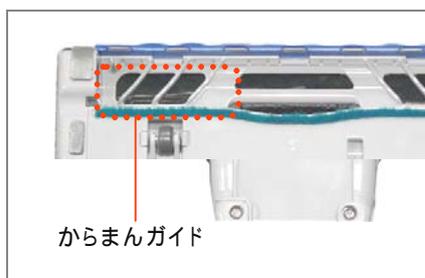
内部に設けた日立独自の「からまんガイド」の効果で、糸くずや髪の毛、ペットの毛などが回転ブラシに絡みつくのを抑え、しっかり吸い込みます。

手入れが楽な「ワンタッチ着脱回転ブラシ」(図5)

ヘッド後部のレバーを開くと、ブラシホルダーが外れて、回転ブラシを簡単に取り外すことができます。面倒なベルトの着脱も不要で、回転ブラシを取り付けるときも簡単です。

壁際の微細なちりをかき取る「きわびたスイングシャッター」

吸口前部のシャッターが前後にスイングし、モーター駆動による回転ブラシの効果とあいまって、壁際の大きなごみから微細なちりまで強力にかき取ります。



[図4 からまん機能]



[図5 ワンタッチ着脱回転ブラシ]

5. その他の特長

4



[図6 サットズームパイプ]

本製品では、楽に掃除ができる日立独自の機能を現行機種に引き続き採用しました。

手元のレバーで長さを簡単に調節できる「サッとズームパイプ」(CV-PK8)(図6)

手元にあるレバーを操作して、使う場所や背丈に合わせ、パイプの長さを簡単に調節できます。

狭い所も、低い所も、素早く掃除ができる「ペタリンコ・クルッと構造」

ベッドの下など低い場所でも奥までしっかり掃除ができます。また、ヘッドがくるっと回って、すき間もスムーズに掃除ができます。

階段などの持ち運びが楽にできる「サッとハンドル」

固定式の大型ハンドルにより、階段などの狭い場所でも本体を持って、楽に移動することができます。

6. 環境への配慮

電子基板に無鉛はんだを使用し、六価クロムを含まないねじや、鉛を含まない塩化ビニールの採用など、EUのRoHS(*5)指令に対応しており、J-Moss(*6)に基づいてグリーンマークを表示しています。また、小型軽量ボディとすることで使用材料を削減し、資源の節約を図りました。

(*5) Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment の略。欧州連合(EU)域内を取り扱う電気・電子機器製品を対象に実施する有害物質規制のこと。2006年7月以降、鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリプロモビフェニル)・PBDE(ポリプロモジフェニルエーテル)の6物質の使用が制限されています。

(*6) 日本工業規格(JIS C 0950:2005)「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」

新製品の主な仕様

型式	CV-PK8	CV-PK7
集じん方式	紙パック方式(抗菌防臭3種・3層HEパックフィルターGP-110F)	
吸込仕事率	「新測定基準」570W～約80W	「新測定基準」560W～約80W
消費電力	1,000W～約300W	
本体寸法	288×256×214mm(長さ×幅×高さ)	
本体質量	3.1kg	
ヘッド(吸口)	「からまん」パワフル快走ヘッド	「からまん」パワーヘッド
回転ブラシ	ナノチタン8条回転ブラシ	ナノチタン回転ブラシ
衛生システム	ナノチタン・アレルオフ除菌消臭システム	ナノチタン・アレルオフ抗菌消臭システム
延長管	サッとズームパイプ	ワンタッチズームパイプ
付属品	すき間用吸口/サッとハンドル	
本体色	シルバーグレー(H)	ブルー(A)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
